



Overseas Fishery Cooperation Foundation of Japan

評価報告書

キリバス共和国

— 平成 30 (2018) 年度 地域巡回機能回復等推進事業 —
(終了時評価—2019 年 4 月)

事業概要

国名	キリバス共和国
プロジェクト名	2018 年度 FDAPIN VI プロジェクト
実施期間	2018 年 7 月 19 日～2019 年 3 月 31 日
相手国政府覚書署名省庁名及び実施機関	覚書署名省庁：漁業海洋資源開発省 (MFMRD : Ministry of Fisheries and Marine Resource Development) 実施機関：漁業海洋資源開発省水産局

プロジェクト実施の経緯と背景

キリバス共和国 (以下、「キリバス」という。) の「キリバス国家漁業政策 2013-2025 (Kiribati National Fisheries Policy 2013-2025)」では、「持続的漁業、養殖、海洋資源開発を通じた経済成長と雇用機会の創出及びキリバス国民の食糧安全保障と生計の維持」を目標として掲げている。これらの達成については、特に社会的、経済的分野で開発が遅れている離島地域の漁業開発・振興を基本戦略にしている。

このような戦略の下、キリバス政府は各種の漁業振興施策を実施しているが、特に同国の離島における水産関連施設は、故障や老朽化あるいは運営管理の不備等のため本来の機能を発揮することができず、漁業の開発・振興に支障を来している。

このため、キリバス政府は、公益財団法人海外漁業協力財団 (以下、「財団」という。) に対



し、水産関連施設の修理・修復及び技術移転並びに関連組織への指導・助言についての支援要請を行った。

財団は、我が国とキリバスとの漁業関係の重要性に鑑み、同国政府の漁業振興施策を支援するため、本プロジェクトを実施した。

目標・成果・活動内容等

上位目標	修理・修復対象施設周辺地域の漁業生産が増加し、小規模漁業が発展する。
プロジェクト目標	①水産関連施設が修理・修復され、当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。 ②水産関連施設の管理・運営が改善され、活性化・自立化が促進される。
成 果	①アバイアン漁業センター製氷機の修理・修復及び技術指導 アバイアン漁業センター製氷施設の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。 ②オノトア漁業センター発電機の修理・修復及び技術指導 オノトア漁業センター発電機の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。 ③アラヌカ漁業センター発電機の修理・修復及び技術指導並びに船外機のメンテナンス講習会の開催 アラヌカ漁業センター製氷施設（稼働中）の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。また、アラヌカ島漁業者に対し、ワークショップ機能回復のための施設整備及び予備部品管理手法、船外機整備手法等に関して指導することにより、施設の維持管理能力が向上する。 ④アラヌカ漁業センター及びオノトア漁業センターでの人工集魚装置（以下、「FAD」という。）及び鮮魚取扱いの講習会の開催 アラヌカ島漁業者及びオノトア島漁業者に対し、FAD の製作、海上設置の実習及び鮮魚の取扱いに関する実習等を行うことにより、改良型沿岸零細漁業用 FAD モデルの製作及び設置に関する技術、船上での鮮魚取扱い技術等を習得させる。
活 動	①アバイアン漁業センター製氷機の修理・修復及び技術指導 製氷機用発電機の修理・修復を行い、カウンターパートに対し修理・修復に関する技術指導を行った。 ②オノトア漁業センター発電機の修理・修復及び技術指導 発電機の修理・修復についての講習会を行った。 ③アラヌカ漁業センター発電機の修理・修復及び技術指導並びに船外機のメンテナンス講習会の開催 製氷機用発電機の修理・修復、ワークショップの整備及び予備品管理手法、船外機整備手法の指導を行った。 ④アラヌカ漁業センター及びオノトア漁業センターにおける FAD 及び鮮魚取扱いの講習会の開催 タラワにおいて沿岸小規模漁業用 FAD 関係者を対象にした FAD の整備知識、技術的課題、管理面の課題と対策等に関する講習会を実施した。

投 入	<p>財団側</p> <p>1) 専門家</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画 <ul style="list-style-type: none"> 第1回巡回指導：チームリーダー/漁業技術専門家 1名 漁船機関専門家 1名 2018年11月23日～12月12日 (20日) 第2回巡回指導：チームリーダー/漁業技術専門家 1名 漁船機関専門家 1名 冷凍機器専門家 1名 2019年2月24日～3月22日 (約27日) ・ 実績 <ul style="list-style-type: none"> 第1回巡回指導：チームリーダー/漁業技術専門家 1名 漁船機関専門家 1名 2018年11月22日～12月10日 (19日) 第2回巡回指導：チームリーダー/漁業技術専門家 1名 2019年2月25日～3月21日 (25日) 漁船機関専門家 1名 2019年2月24日～3月21日 (26日) 冷凍機器専門家 1名 2019年2月24日～3月21日 (26日) ・ 延日数 <ul style="list-style-type: none"> 計画：121人・日 実績：115人・日 (計画対比：95%) <p>2) 主な資機材 講習会用船外機、発電機、製氷機、船外機部品、工具、製氷機部品、 発電機の消耗品等</p> <p>3) 事業費 予算額 26,662千円 実績額 26,715千円 (予算対比：100%)</p> <p>相手国側</p> <p>1) 主なカウンターパート</p> <p>第1回巡回指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ① アバイアン漁業センター製氷機の修理・修復及び技術指導 MFMRD Project Officer 1名 Refrigeration Technician 1名 Marine Mechanic 1名 Central Pacific Producers Limited (CPPL) Aranuka Branch Supervisor 1名 Engineer 1名 2018年11月26日～12月6日 <p>第2回巡回指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ② オノトア漁業センター発電機の修理・修復及び技術指導 MFMRD Project Officer 1名 Refrigeration Technician 1名 Marine Mechanic 1名
-----	---

	<p>CPPL Abaiang Fishing Center (FC) ,Supervisor 1名 Refrigeration Technician 1名 Abaiang FC Operator 1名 2019年2月28日～3月4日</p> <p>③アラヌカ漁業センター発電機の修理・修復及び技術指導並びに船外機のメンテナンス講習会の開催 MFMRD Refrigeration Technician 1名 Marine Mechanic 1名 Project Officer 2名 Energy Technician, Ministry of Industry and Sustainable Energy (MISE) 1名 Onotoa FC Manager/Operator 1名 Sales women 1名 2019年3月12日～3月19日</p> <p>④アラヌカ漁業センター及びオノトア漁業センターでの FAD 及び鮮魚取扱いの講習会の開催 MFMRD Fishing Master 1名 Fisheries Officer 1名 Enforcement Officer 1名 Fisheries Training Assistant 1名 Fisheries Assistant 3名 2019年3月7日</p> <p>2)プロジェクト関連予算、土地、施設等 MFMRD、水産局、各離島漁業センターにおける電気・水道・電話（国内通話）・発電機燃料の無償提供、国内資機材搬送費の負担</p>
--	--

評価事項

◆ 妥当性

1. 対象国政府の水産振興政策との整合性

本プロジェクトは、キリバス政府が策定した国家開発政策に目標として掲げられている「持続的漁業、養殖、海洋資源開発を通じた経済成長と雇用機会の創出及びキリバス国民の食糧安全保障と生計の維持」に合致した事業内容であり、妥当と判断される。

2. 協力ニーズ（対象国、対象地域）との整合性

キリバス政府から、現地技術者への技術移転及び関連組織への指導・助言を要請されており、事前調査において、下記4件に対する協力ニーズが高いことが確認されている。

- ・アラヌカ島漁業センター発電機の修理・修復及び技術指導並びに船外機についてのメンテナンス講習会
- ・アバイアン島漁業センター製氷機の修理・修復及び技術指導

- ・オトノア島漁業センター発電機の修理・修復及び技術指導
- ・FAD 及び鮮魚取扱いについての講習会

3. 環境に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトでは、直接環境に影響を与える活動はなく、冷媒、廃棄部品等の扱いについては、適切な回収装置を用いるなど、常に環境保全に配慮している。

4. 水産資源に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトは、水産関連施設の機能回復を図り、その運営・管理に対する助言を行うものである。今回の対象施設は、漁業センターの製氷機・発電機等であり、製氷活動が活性化することで間接的に現地零細漁業者の漁業活動が活発になることが想定されるが、氷を用いる漁業者は底釣り、引き縄、魚突き漁業等の無動力カヌーを利用した零細漁業者が主であり、氷の使用が直接的に漁獲圧力を高めることはない。また、FAD は沿岸小規模漁業用であり、水産資源に対する影響は限定的と考えられる。

5. その他（プロジェクト関連予算、土地、施設等受け入れ態勢は決められたとおりに実行されたか等）

プロジェクト関連予算、土地、施設等受け入れ態勢は決められたとおりに実行された。

◆ 効率性

1. 事業費及び実施期間

事業費はわずかに予算を上回ったが、実施期間は計画した期間より短縮されたことから、効率性は高いと評価。（予算及び計画対比：事業費 100%、実施期間 95%）

2. 資機材、施設、専門家はタイミングよく投入され、期待された機能、能力を発揮していたか

資機材及び専門家は、実施計画に従いタイミングよく投入され、プロジェクト活動は計画期間内にすべて完了し、それぞれ期待された機能及び能力を発揮した。

3. 移転技術はカウンターパートの習得水準に適合していたか

移転技術は、巡回指導及び漁業普及とともに、専門家が事前調査においてカウンターパートの技術水準を見極めた上で指導内容を検討しており、実施に当たっては適切な指導が行われたことから、カウンターパートの水準に適合していた。

4. 状況の変化、教訓・提言等に応じて実施計画、活動項目は、適宜見直されていたか

特になし。

5. その他（プロジェクトの効率性に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等）

MFMRD の技術者 1 名は長期にわたり FDAPIN カウンターパートを務め、定年後は契約技術者として事業に関わっていたが、本年度から MFMRD に再雇用され、改めてカウンターパートとして事業に参画した。同人の知識と技術はプロジェクトの効率性の向上に大きく貢献した。

また、MFMRD 及び CPPL カウンターパートは、本年度に財団が実施した製氷機講習会に参加し、技術水準が向上したことから、プロジェクトの効率性が一層高まった。

◆ 有効性

1. プロジェクト目標の達成度

① プロジェクト目標の達成度

プロジェクト目標：水産関連施設の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術の向上

計画どおり水産関連施設の機能が回復し、また、必要な技術移転が行われ、技術指導によるカウンターパートの基礎知識及び技術レベルは益々向上したことからプロジェクトの目標は達成された。

プロジェクト目標：水産関連施設の管理・運営が改善され、活性化・自立化が促進される

タラワにおいて沿岸小規模漁業用 FAD 関係者を対象にした FAD の整備知識、技術的課題、管理面の課題と対策等に関する講習会を実施した。その結果、FAD を利用した漁労効率の改善が促進されたことから、プロジェクトの目標は達成された。

② その他（プロジェクト目標の達成度と外部要因との関係等）

特になし。

2. プロジェクト活動項目及び期待された成果の達成度

① アバイアン島漁業センター製氷機の修理・修復及び技術指導

期待された効果：当該漁業センターの製氷機修理・修復及び施設の維持・管理に係る技術が向上する

製氷機の修理・修復を行い、カウンターパートに対し修理・修復に関する技術指導を行ったことにより、技術レベルが向上し、施設の稼働が円滑になった。

② オトノア島オノトア漁業センターの製氷機用発電機の修理・修復及び技術指導

期待された効果：当該施設の発電機修理・修復及び施設の維持・管理に係る技術が向上する

製氷機用発電機の修理・修復を行い、カウンターパートに対し修理・修復に関する技術指導を行ったことにより、技術レベルが向上し、施設の稼働が円滑になった。

③ アラヌカ島アラヌカ漁業センターの製氷機用発電機の修理・修復及び技術指導及び同漁業センターにおける船外機についてのメンテナンス講習会

期待された効果：当該施設の発電機修理・修復及び施設の維持・管理に係る技術が向上する。また、同漁業センター周辺の漁民の船外機の修理・復及び維持・管理に係る技術が向上する

製氷機用発電機の点検・整備を行い、カウンターパートに対し維持・管理に関する技術指導を行ったことにより、技術レベルが向上し、施設の稼働が円滑になった。また、船外機の修理・修復についての講習会を行い、講習会を受講した周辺漁民の船外機の保守・管理能力が向上した。

④ アラヌカ漁業センター、オトノア漁業センターでの FAD（人工集魚装置）及び鮮魚取扱いの講習会

期待された効果：当該漁業センター周辺の漁民の FAD の作成及び維持・管理に係る技術が向上する

予算の制約から資機材の調達ができず、開催場所と対象を先方政府と調整、変更の上、講習会を実施した。FAD の基礎知識から関連技術、課題と対応策等についての講習会を行い、FAD の作成、保守・管理能力が向上した。

◆ インパクト

1. プロジェクト上位目標の達成に対し、プロジェクト目標の達成の効果はどの程度見込まれるか

本プロジェクトの実施により、製氷機、発電機、船外機の修理・修復及び FAD に関するカウンターパートの技術が向上したことから、プロジェクト目標は達成された。

今後、各漁業センターの製氷機、発電機が順調に稼働し、安定的に船外機や FAD が運用されれば、上位目標である修理・修復対象施設周辺地域の漁業生産の増加、小規模漁業の発展に一定の効果を及ぼすとともに、キリバス政府が策定した国家開発政策に目標として掲げられる「持続的漁業、養殖、海洋資源開発を通じた経済成長と雇用機会の創出及びキリバス国民の食糧安全保障と生計の維持」の達成にも寄与する。

2. プロジェクトは相手国・対象地域の政策形成、社会・経済等でどのような直接的・間接的な効果または負の影響が見込まれるか

本プロジェクトの実施により、各漁業センターの製氷機、発電機が安定的に稼働し、周辺漁民に氷が円滑に供給されるようになった。今後、製氷施設が順調に稼働すれば、漁獲物の品質向上により魚価が上昇し、漁民の所得が向上することから、対象地域の経済の活性化に対する直接的な効果の発現が見込まれる。また、氷は地域住民にも供給されることから、民生向上に寄与し、対象地域の社会・経済に対する直接的な効果の発現が見込まれる。

3. その他（ターゲットグループに対するインパクトや、プロジェクトの計画当初予見できなかった効果または負の影響が見込まれるか等）

特になし。

◆ 持続性

1. プロジェクト終了後もカウンターパート及び供与された資機材は有効に活用されるか

カウンターパートは MFMRD の職員で、プロジェクト終了後も引き続き本施設の管理を担当する予定である。

供与された資機材は、各漁業センターの稼働及び運営・管理に必要なものであり、プロジェクトを通じてカウンターパートに適切に技術移転されたことから、プロジェクト終了後も有効に活用される。

2. プロジェクト終了後も効果は持続される見込みか

本プロジェクトにより施設の機能が強化され、継続的な活動を可能にする人的・物的環境が整備された。また、キリバス政府は国家開発政策に基づき離島漁業センターの活用を推進しており、こうした漁業センターの継続的運営が同国の沿岸漁業振興に不可欠であることを認識し、センター運営に積極的に関与している。従って、本プロジェクト終了後も、この効果は持続的に発揮される見込みである。

3. その他（持続性に影響を与えると考えられる貢献・阻害要因等

特になし。

以上